

指定障害者支援施設

さやま園 ▼▲● だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!

かほろ



No.208

2019.July



荒井園長 編

はた かた かいかく
働き方改革

7月となり、今年も暑い夏がやってきました。今年度一番大きな改修工事の集中冷温発生機からの個別空調への交換工事（食堂・多目的ホール）が無事終了することができました。猛暑を迎える前に終了しほっとしているところです。また、2階のお風呂の改修工事・ナースコールの設置と続きますが、利用者の生活の支障が最小限で留められるよう進めていきたいと思います。

ところで、話は大きく変わりますが、政府の重要政策のひとつとして打ち出された「働き方改革」ですが、さやま園では有給休暇と夏季休暇の消化をどのようにしていくか、利用者への不利益とならないような支援体制を整えていくかが大きな課題となりました。

さやま園は、365日、24時間利用者の生活を支えている入所施設です。生活が途切れることはありません。同時に利用者一人ひとりの支援も途切れさせてもいけません。生活と支援が繋がっていくことが支援者の使命であり、安心と幸せの追求にあります。

良い支援をするためには職員のリフレッシュも欠かせません。働きやすい職場、働き甲斐のある職場、学生などが将来働きたいと思える職種となるよう処遇面も含めた働き方改革となることを求めています。

今年の最高気温は何度になるのでしょうか？
熱中症や食中毒にならないよう皆さん気をつけましょう！そして、楽しいリフレッシュも！！

園長 荒井隆夫

日中活動 とうげい

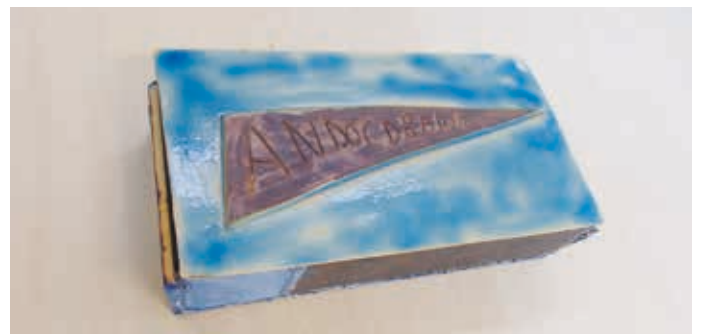
さやま園の日中活動で陶芸活動を再始動してから、早4年がたちました。
週2日、16名の利用者のかたが参加されています。

落ち着いた空気感と、土に触れるたのしみで今年度も新しい制作に取り組んでいます。
利用者のかたはとても個性がでる作品をつくります。
いつも手放さない趣味のモノであったり、最近ハマっているTVキャラクターであったり、それこそ自身の描く絵が立体となって飛び出してみたりと・・・こちらの予想をはるかに超えてきます。
今回は、個性派ブースと共同ブースでいくつか作品を紹介します。

《個性派ブース》



彼女は毎日、早朝から園内を散歩しています。
そこでいつも会う鳩はこんなのだと作っていました(笑)
(橘かをるさん)



彼は、片時もラジオを手放しません。
職員に嬉しそうに見せてはラジオ番組のお話をしてくれます。
現在は、また新しいラジオの制作中だとか・・・(安東昌生さん)



たびたび紹介している彼女は、絵画も立体も、刺繍も見事に熟します。
(林秀子さん)



今回、特集ページも組まれている彼女の作品は当初、私たちも驚きました。
毎日、毎日、「ねこちゃん」と彼女は呼んでいる絵のなかに描かれた形を
立体にして作ったそうです。(高橋伸江さん)

《共同ブース》

共同ブースでは季節折々に合わせた置物から、10月に開催されるさやま園祭で
並ぶ食器をはじめ、展覧会などに出品する作品づくりをおこなっています。
今年度の園祭でも大好評のワークショップ企画をはやくもみなさんで模索しています。



5月にはこいのぼりのガーラントをつくりました。今回の表紙も飾っています。



《陶印》自分のつくったものには、オリジナルの印を・・・！
というみんなの要望で作成しました。



GALLERY KADOKKO



ART
GALLERY
園内ギャラリー



モノ作りというものは^{おもしろ}面白い。

つくるのも面白いが、つくっているのをみるのも、できあがったモノをみるのも面白い。

個性豊かな作品を前に^{みりよう}魅了される。^{おどろ}驚かされ、^{おどろ}気づかされ、考えさせられる。

モノづくりを通してその人のことをもっと知れるし、知りたくなる。

さやま園の一角にできたギャラリースペース。

ここでは一人の利用者さんにスポットを当て、作品展示を行なっています。

『個展』というのでしょうか。

ギャラリーは今年度から始まった取り組みです。

さやま園には96名の利用者さんがいます。それぞれ仕事や^{しゅみ}趣味があります。中にはモノ作りをする人もいます。

つくられたモノは展示会に出展したり、さやま園祭で販売したり、園内で^{かざ}飾ったりします。

どれも^{すでき}素敵で^{みりよくてき}魅力的です。

96名もいると色んな人の素敵な作品を共有したくなってしまいます。一人の人だけにスポットが当たる事はそうそうありません。

ギャラリーでは、さやま園の利用者さんとしてではなく、〇〇さんとしてスポットライトが当たります。

〇〇さんを、知る・知りたくなるきっかけを作るギャラリー。

〇〇さんの、モノ作りのチカラの種になるギャラリー。

そうして始まったギャラリー。

記念する第一回目の展示は『タカハシ ノブエさん展』で、不思議なネコの世界に魅了される展示でした。現在の展示は『バンドウ カズコさん展』。今まで知らなかった彼女の新たな一面に出会えるかもしれません。

いつも1人1作品、数人の作品をまとめて展示されることが多い利用者さんの作品。今回の園内ギャラリーの試みは、個展とし、1人の作品を多数展示しています。1人のまとまった作品群を観ることで、その個人が浮き上がってきます。作品を通して、その人の内面に少しでも触れられたらと思います。

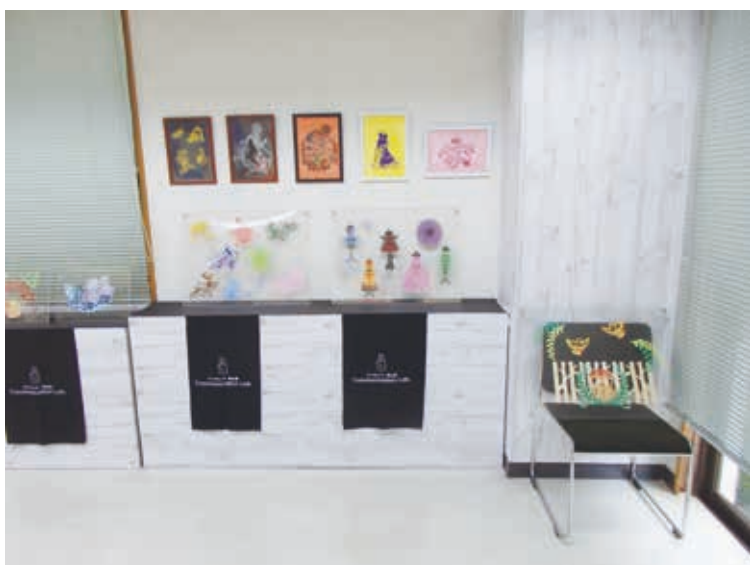
ここで第1回目の展示「タカハシノブエさん展」の様子を少しご紹介します。ノブエさんに作っているものを尋ねると、大概「ねこちゃん」と答えが返ってきます。

彼女にとっての「ねこちゃん」とは？

そんな切り口で作品紹介した展示でした。



ノブエさんの陶芸の作品。平面で描かれたモチーフがそのまま立体で表現されています。



こちらは反対側の壁に展示されている斉藤みどりさんの切り絵の作品。常設展示としてしばらく展示予定。

●個展の企画展示はおおよそ2ヶ月のサイクルで展示内容が変わる予定です。



『ねこちゃん』の正体

高橋伸江さんは、日中活動のくれあ【手芸、造形、かいが絵画】では、『ねこちゃん』（ご本人が付ける題名）の絵を毎日、毎日描いていらっしゃいます。

私たちにとって『ねこちゃん』とはいわゆる動物の「猫」ですが、彼女のなかでは、果たしてその『ねこ』なのか、作品を見ていくたびに感じるようになりました。

時には、ひと？なのか乗り物？なのか、はたまた彼女の何か大切な【言葉】の一部なのか…

ただ、その絵から見えてくるものや飛び出してくる作品【陶芸作品】は、観る人の心を惹きつけます。

言葉だけでは気づけなかった「ねこちゃん」の意味。

伸江さんの豊かな表現力を持った作品をみると、シンプルな言葉の奥には、広くて深い思いが隠れているのかな～と感じずにはられません。

*展示パネルより引用

お知らせ

さやま園 夏祭り

開催日：令和元年 7月23日(火)

時間：16:30～19:30

会場：さやま園 園庭・作業棟(雨天決行)

さやま園の夏祭り・・・今年も開催します！

太鼓パフォーマンスや模擬店、縁日など・・・美味しいものや楽しいことが盛りだくさん！

さやま園ならではの、ワクワクする夏祭りを考えています。

令和になって最初の夏祭り・・・皆様の思い出に残るよう、利用者・職員ともに一所懸命準備をしています！

ぜひ、さやま園に遊びに来て下さい！一緒にまつりを盛り上げていきましょう！

わたしはどこに
いるでしょう？



ミカメを探せ！

カルミア内にひそむ“ミカメ”を探す企画！
今号には何人のミカメが潜んでいるでしょう？
さあ探してみよう！

へんしゅうこうき 編集後記

先日2020年東京オリンピック観戦の抽選結果が出ました。なかなか当たらないようですがご自身、又は周りに当たったという方はいましたか？東京オリンピック開催が決まったのは2013年9月7日。あの頃は遠い先の話だと思っていましたが年号も変わり、気付けばあと1年。時が経つのは本当に早いですね…。こうして年齢を重ねていくのだとしみじみ感じます。

そして季節はもう夏。夏といえば夏祭り、花火大会、海水浴！アイスにかき氷、冷たいそうめんなんか美味しい季節ですね。冬になると早く夏が来ないかな～と思うのですが夏になると早く冬にならないかな～と思うのは私だけでしょうか…。令和元年の夏、皆さんはどう過ごしますか？体調には十分気を付けて夏を乗りきりましょう！

